



四條畷市議会議員

ながはた

長畑ひろのり News



発行：2010.07.01

- 市政報告 07 月号 -

vol.037

ご意見は次の e メールアドレスへ
公式HP & ブログは次のURLへ

sky@nagahata.jp

phone：072-878-3205

http://nagahata.jp

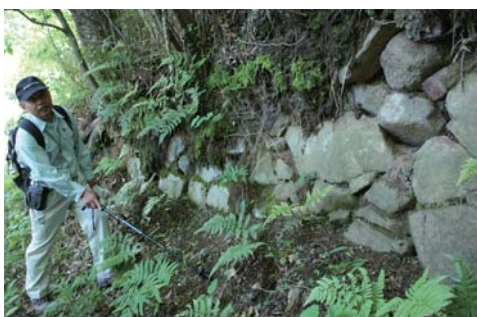
fax：072-877-1194

こんにちは、市政報告です

市議会で作っている「歴史的遺産と観光行政に係る特別委員会」での活動に、飯盛山城跡の活用についてがあります。その飯盛山城跡について、6月議会で私が一般質問した中の主に観光行政についてを、今号は報告させていただきます。

「飯盛山城跡」について

5月28日特別委員会で飯盛山に登り縄張り図をもとに尾根伝い約1,2km、山城跡の調査を行いました。



まだまだ、当時のままの石垣に、本丸千畳敷郭、土塁、堀切跡等も数々残っており、大東市の特別委員会と協力しながら飯盛山城跡の保存と活用方法を考えなければと思います。

【飯盛山城の歴史】

1348年1月5日（南北朝時代）

四條畷の戦、楠木正行軍(3,000人)VS高師直軍(60,000人)

「太平記(1371年頃完成)」に飯盛山城の記載がある。

☆この頃の飯盛山城は、臨時的な砦として考えられている。

1531年8月20日（戦国時代）

河内守護畠山義堯、飯盛山城の木沢長政を攻撃。

☆この頃に飯盛山城は、半永久的な居城として築かれたと考えられている。

1560年11月13日（戦国時代：5月桶狭間の戦い）

三好長慶、拠点を芥川山城から飯盛山城へ移す。

☆この頃に飯盛山城は大規模改修されたと考えられている。

1563年（戦国時代）

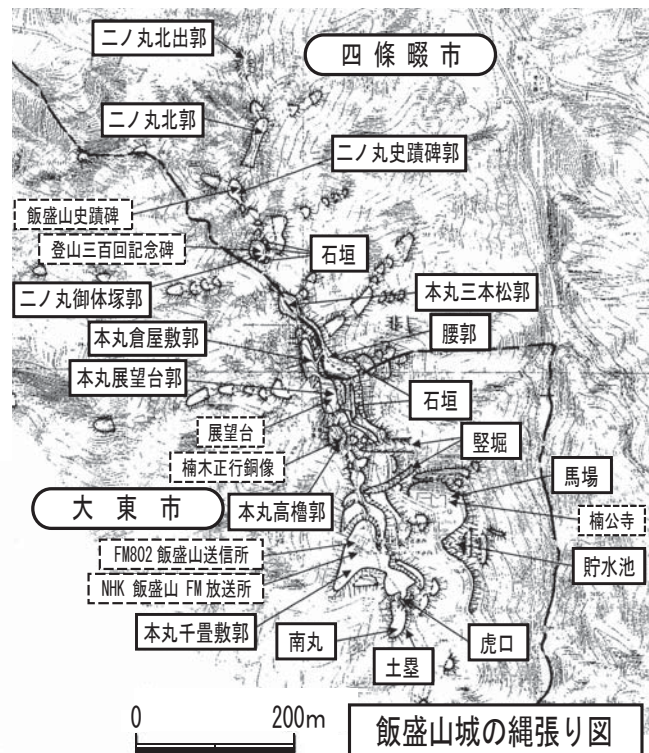
三好長慶、飯盛山下でのキリスト教布教を許可する。

1568年9月29日（安土桃山時代 ← 諸説あり）

織田信長、摂河を平定し飯盛山城は高屋城主畠山昭高が所有。

1576年（安土桃山時代）

飯盛山城、織田信長に攻められ落城し廃城となる。



飯盛山城は歴史上重要な位置を占めます。…三好長慶は、畠山氏の本拠地である河内を奪って畿内支配をはかろうと、1560年11月13日、芥川山城（高槻市）から飯盛山城へ移ります。1562年、飯盛山城は畠山高政軍に攻撃されますが、それを打ち破ります。こうして三好長慶は、飯盛山城を居城として大規模改修し、河内・大和・山城・摂津・丹波・播磨・阿波・伊予・淡路・讃岐を支配する戦国大名となりました。…と言うように、飯盛山城は1562年以降、畿内から四国までを支配し全盛期をむかえるも、1564年、城主の三好長慶は飯盛山城内において43歳で病死します。その後、織田信長の全国統一のために1576年に攻められ落城し、畿内最大級の山城も歴史の表舞台から姿を消します。三好長慶が飯盛山城に入城したのは、今から450年前の出来事、そこから一つの歴史が始まりました。

「6月議会一般質問」より

6月議会一般質問の中で、私は4点の質問をしました。そのうちの観光行政に関するもの3点を報告します。残りの1点は“平成23年度新学習指導要領への対応について”ですが、次号を発行できれば、そこで報告させて頂く予定です。

◎「無線LANによる庁内フリースポット」について

【問1】無線LANを設置し、無料でアクセスできるアクセスポイントを庁舎において開設する場合、かかる費用は？

【答1】機器類の設置等初期導入費用として約10万円、月額利用料として約5千円。費用もあまりかからないため、四條畷観光研究グループにおいて前向きに検討する。

他市の取組み

- ・大分県宇佐市では、市内3ヶ所にフリースポット設置。HPには「市内の観光情報を検索したり、旅先でのブログ更新や電子メール送受信・スカイプフォンの利用等が可能です。」と書かれています。
- ・岡山県玉野市では、市役所1階ロビーにフリースポット。HPには「無線LANが利用できるパソコンを持ってくれば、だれでも高速なインターネットが利用できます。また、インターネット端末も設置しています。」

◎「ご当地ナンバープレート」について

【問1】本市としてのオリジナルナンバープレートを作成する考えはあるのでしょうか？仮に作成するとしたら何枚が効果的で、かかる費用は？

【答1】投資効果が期待できるか検討していないため、導入予定はない。しかし、四條畷市観光研究グループにおいて、本市としてのシンボルが決まれば前向きに検討したい。また、本市の平成21年度作成状況は900枚。1枚あたり100円で費用は約9万円。他市の事例を確認すると、オリジナルで作成する場合金型作成に約200万円、1枚あたりの作成費用は約150円かかる。

【問2】今年4月1日より、ご当地ナンバープレートを使用している箕面市の交付総数は1万台で年間3千枚。事業予算は465万円だが、国の補正予算の地域活性化・経済危機臨時対策交付金を活用し市の負担はなし。本市の同様の交付金のうち地域活性化の部分としては何に使われたのか。

【答2】防犯体制整備、一般道路舗装工事及びハイキングコース等案内板設置など、各担当部局から提案のあった事業の中から選定した28事業に使用した。

【コメント】28事業の交付金年度終了実績報告を見るが、特に地域活性化のために使われたと言う事業が見当たらない。地元の業者が潤うのが地域活性化と取るしかないのか。箕面市が、国からの交付金をきっちりと地域活性化のために案を出して取組んだのに対し、本市は何ら案がなかったと言う事なのでしょう。今後は、“動く広告塔”として自治体の魅力を発信するとの観点で、前向きに検討して頂きたい。

他市の取組み

・大阪府箕面市では、山を背景に滝が中心とした形に紅葉を組み合わせたデザイン。



・東京都調布市では、6月5日より、日本初のキャラクター入りナンバープレートの受付を開始。内容は「ゲゲゲの女房」の舞台となったためキャラクターは「ゲゲゲの鬼太郎」です。



・右画像以外の例として、松山市では、司馬遼太郎「坂の上の雲」にちなんだ雲の形。上田市では、上田城をイメージした形に真田氏の旗印である「六文銭」の柄も入っている。



◎「仮称文化観光協議会」について

【問1】産業労働課が産業労働観光課に名称変更して3年経つが、この間、本市の観光行政はどれぐらい進んだのか？

仮称文化観光協議会が立ち上がった後の活動内容を、行政としてどう考えているのか？

【答1】本市観光行政の転換点となる「仮称文化観光協議会」の設立に向け緩やかながら進んでいる。協議会設立後、当面は既存イベント等への協力団体として活躍しながら、観光情報の発信や、観光施策の市民への浸透、独自事業の展開など、本市観光行政の中軸を担う組織への発展を期したい。

【問2】駅をおりても観光案内所すらない本市。それでも「緑と歴史をいかした にぎわいあるまちをめざして」まちづくりを進めるには発信する場所が必要。今までの行政の動きは、歴史のことは歴史民俗資料館に行けば良いと思える。そうではなく、多くの歴史的資料を見るなら歴史民俗資料館へ、飯盛山城跡へはこのルートを通って下さい。そういう場所が必要と考えるが、今、本市はどこで発信していますか？

【答2】市のHPや、JR各駅にパンフレットを置いている。

【コメント】すぐに道の駅とはいかないが、この庁舎の一部を観光案内の発信基地として利用できないか。フリースポットも設置し、市内外の方が入ってしまえば市内を観光せずにはおられない場所。そのための整備を、仮称文化観光協議会で議論して頂きたい。出来ればもう一度、四條畷市観光協会を設立し、観光案内発信基地の運営ができれば、緑と歴史をいかした本当のまちづくりに取組むことが出来ると思います。